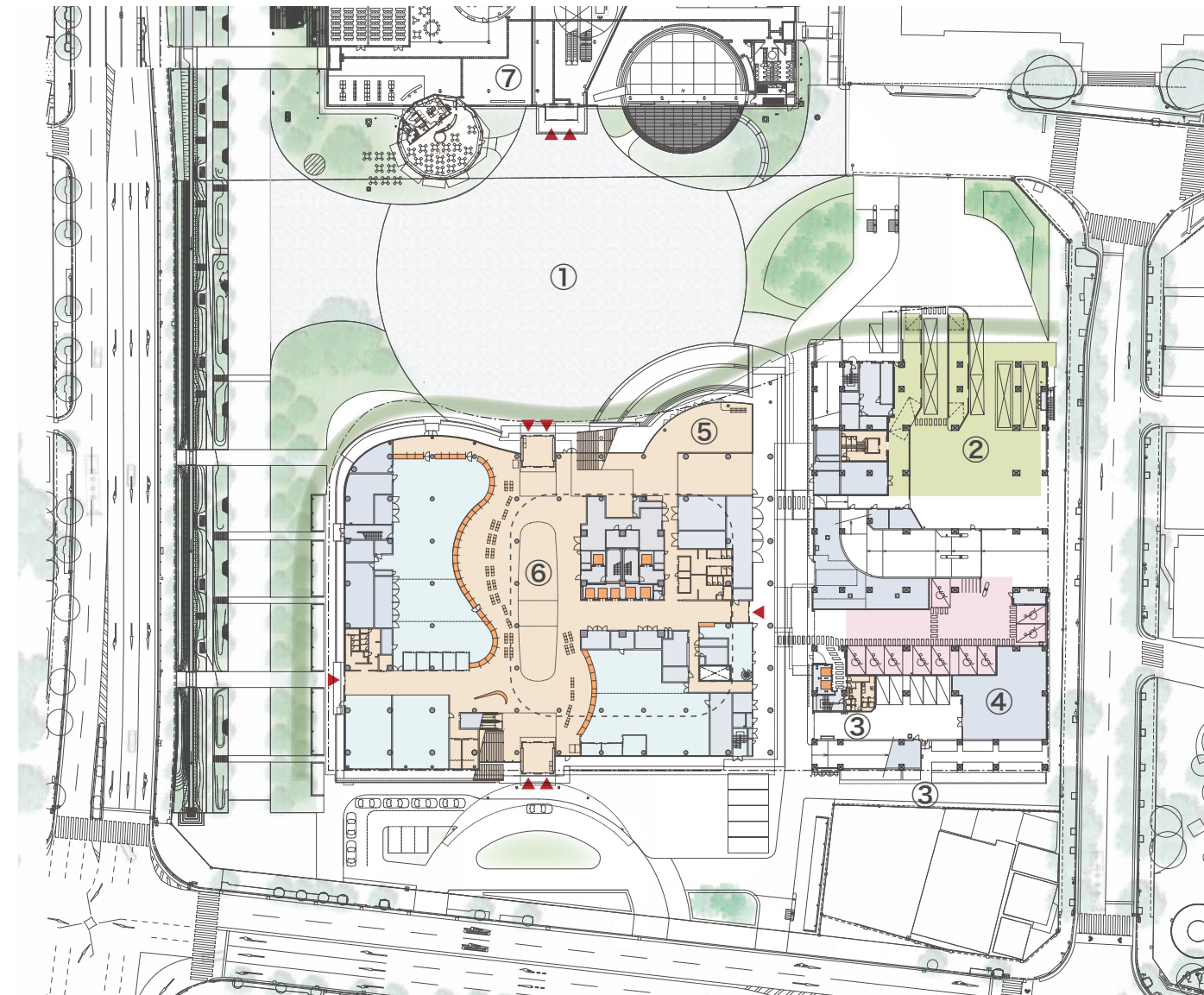


## 2-7-2 新庁舎の防災機能を高める防災広場など

## ① みんなの広場 カオカオ

災害用ガスバルクタンクや非常用電源設備を整備し、災害時のエネルギーを確保します。また、重車両に対応したインターロッキング舗装を採用し、災害大型車両の乗り入れを可能にするとともに、関係機関が防災 TENT を設置できるよう、TENT 足場を設置します。

「みんなの広場 カオカオ」は、岐阜市地域防災計画において、指定緊急避難場所に位置づけられており、「防災広場」として機能強化を図っていきます。



## ② 立体駐車場

新庁舎の防災機能を補完する施設として、耐久性や耐火性に優れたプレキャストコンクリート（PC）構造とするとともに一般施設の 1.25 倍の耐震性能に強化します。

また、災害時には、屋根のある大きなスペースが大変有用であることから、公共バスや観光バスの駐車スペースは、大型災害車両の駐留や支援物資の集積、荷捌きスペースとして活用します。



(写真提供：仙台市)

## ③ 生活設備（マンホールトイレ・簡易シャワー）

一時帰宅困難者や災害対応の従事者が利用できるよう、立体駐車場の南側にマンホールトイレを 25 基、立体駐車場 1 階に男女別の簡易シャワー室を整備します。



## ④ 備蓄倉庫

立体駐車場の 1 階、2 階に備蓄倉庫を設け、防災 TENT などの災害資機材とともに、災害時の飲料水や非常食を保管します。



## ⑤ 市民交流スペース

新庁舎 1 階の市民交流スペースを災害時の一時帰宅困難者等の受入スペースとして活用します。

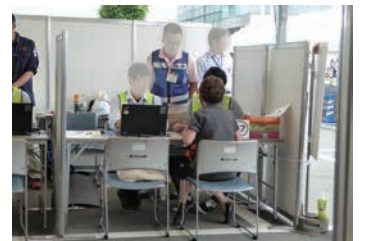
また、1 階のエントランスモールでは、複数の大型モニターで災害情報を提供するほか、特設公衆電話や携帯電話の充電等に活用できる非常用コンセントを設け、一時帰宅困難者の連絡手段を確保します。



(写真提供：仙台市)

## ⑥ 災害窓口

新庁舎 1 階のエントランスモールや、2 階の市民多目的スペースには、り災証明の発行など、臨時的な災害窓口を開設できるよう、非常用電源など必要な整備を行います。



(写真提供：狛江市)

## ⑦ みんなの森 ぎふメディアコスモス

災害時には災害ボランティアセンターなどを設置し、ボランティアの受付や登録、活動案内等とともに、大型ボードなどを用い、様々な情報提供を行います。



(写真提供：横浜災害ボランティアネットワーク会議様)